

ポーラス竹炭を使用して野菜の生育状況を調査

K-BETS理事 福島 巖

私の有機野菜作りの基本方針

● 土壌作り

落ち葉の堆肥を自作1年間発酵させてから畑にすき込む

生ごみにP竹炭や竹粉を混入して発酵所定時間経過したものを使う

● 施肥

窒素分の補給として油かすと米ぬかをベースに投入

元肥、追肥ともに化学肥料は使わない

● 農薬は使わない

病害虫の発生は周辺環境を整備して発生を防ぐ

植えるスペースを確保、根本や葉が蒸れないように間引き、草刈

害虫が付いたら工夫して除去、元気な苗木を作る努力を優先

ビニールマルチやわらなどで水分の発散を抑え雑草を防ぐ

● ポーラス竹炭の活用

苗を植え付け時移植コテ1杯分の竹炭を土と混合して施行する

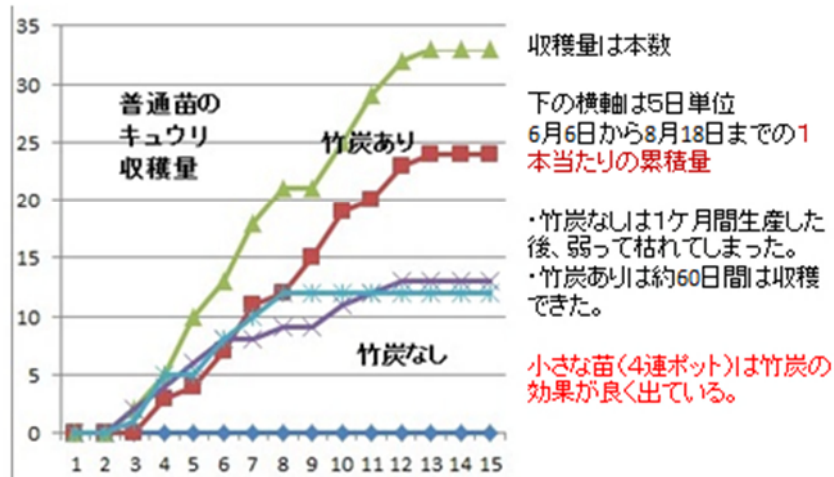
植え付け時には水をたっぷり施す 炭が水分を吸収するので多めに与え

て苗に行くように配慮

小さい苗や種をまくような時は表面だけでも効果がでます

竹炭が効果を発揮するには時間がかかりますのであせらずに成長を楽しんでください

キュウリ収穫量の比較 普通苗



キュウリの根の比較



茎太さと根の張り具合の観察

茎の太さ

竹炭あり 22mm なし 8mm

根を引き抜いて張り具合: 左写真に

なしの根は張った長いものは無かった
普通苗から育てたあり・なしで大きな差
が生じた

大きな接木苗の場合は両者大きく差が
認められない

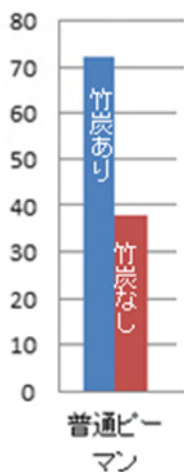
キュウリの生育状況



他の野菜の竹炭効果

ピーマンやシシトウ、オクラなどは竹炭の効果をはっきり出していた。

昨年ゴーヤが良く育ったので根を掘り出して水洗いしたのが下の写真。炭を抱きかかえているのが観察できた。



今年棚だけ作っておいたら30ヶの収穫があった



ゴーヤが余りにもたくさんの実が付くので掘り出して見ると毛根の観察をすると炭を抱きかかえていました